

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

野球好きの方は少なくないと思いますが、巨人を愛して止まない人達も多いと思います。

私も親の影響から大の巨人ファンで御座います。最近の13連敗には胸が詰る思いです。

勝負の世界は下駄を履くまで分からないとは申しますが、ゲームが負けているのを観るのは僥びがたく途中でチャンネルを回してしまう私です。

本当のファンは最後まで応援をするとの事ですが皆様は如何でしょうか？

季節も暑さを増してくるおりお身体大切にしてくださいませ。

サンライズの物語

「一緒にオリンピックを見よう」という合言葉。いつでも思いだされるご利用者との物語。

その方との出会いは凄く短いものでした。福祉事務所と包括からの依頼で自宅を訪問しましたが、身体が急に動かなくなってしまい室内が散乱しており、この環境の中で食事も摂らずによく生きていたという状態でした。

弊社の職員総出で片付けて環境整備した事を懐かしく思い出します。

その方からのお言葉が印象的で「俺はあと5年生きられるのかなあ」と何度も言われておりました。

その度に「一緒に東京オリンピックを見ましょうね」が私達介護職員の合い言葉になっていきました。

食事をしっかり摂り始めて一旦は元気を取り戻したのも束の間、急に状態が悪化して自宅で食事や水分が摂れな



い状況に陥ってしまったのでした。

緊急搬送された病院の担当医からの診断は肝臓癌との事。

その方に延命処置はしないとの意向の確認をした時も

「東京オリンピックを一緒に見ようね」と話され「絶対約束ですよ」と答えるのが精一杯でした。

そんな約束をしてから2週間後のこと天国へと旅立たれました。約束・・・叶わない約束・・・時には生きる力となると信じてする約束・・・ご利用様のお気持ちに寄り添うときに私達介護職の胸の中は一杯になってしまいます。

そんなとき心の中で呟く言葉は、いつも「貴方をわすれない」自転車で乗っているとき、仕事をしているとき、東京オリンピックのニュースを見たとき、貴方を想いだします。

介護に役立つ書籍紹介

できることを取り戻す魔法の介護

ポプラ社 著者：にやりほっと探検隊

ヒヤリハットから「にやりほっと」へ、をテーマに、本人の好きなこと、得意なこと、これまで習慣として続けていたことに注目し、具体的なケアに生かした例が詰まった一冊です。車椅子生活のご利用者がひとりで立ち上がろうとしたという、通常ならば立ち上がらないように見守る「ヒヤリハット」の報告となるが、まだ立ち上がることができる、機会があれば積極的に立ち上がる練習をすることも良いと、「にやりほっと」になると、新しい視点に気づかされます。



NEWS 今月のニュース

防犯と福祉 人気舞台に 焼津の高齢者「浪蔵劇団」

焼津市で防犯と福祉をテーマに活動する「浪蔵（なみぞう）劇団」がこのほど、公演250回を突破した。

同市小川地区の高齢者5人で結成してから7年。「笑いと学び」をモットーに喜怒哀楽にあふれた寸劇で市民を啓発し、安全安心なまちづくりの一翼を担っている。

劇団が発祥した同市の小川公民館で8日に公演したテーマは「認知症高齢者への接し方」。山口浪男代表（83）がふんする「浪蔵じいちゃん」が主人公で、60代の団員らが夫婦、孫を熱演。物忘れや徘徊（はいかい）する祖父との軽妙なやり取りを繰り広げた。住民約90人が、記憶障害や被害



妄想があるお年寄りとのコミュニケーション法について、ナレーション役の団員の声に耳を傾けた。

劇団は2010年2月、自治会活動の一環として、悪質商法に注意を呼び掛ける寸劇上演をきっかけに生まれた。市内外の敬老会やミニデイサービス、PTAなどから依頼が相次ぎ、公演回数は年間約50回に上る。5月下旬の牧之原市での公演で250回に達した。

焼津署や市社会福祉協議会と連携し、詐欺被害の状況や認知症患者に関する最新情報を収集。「地元の人より詳しい」と言われることもあるほど公演先の方言や歴史について事前調査し、セリフに盛り込む演出が好評だ。

山口代表は「見る人との一体感を大切に、少しずつ台本や演出を見直してきた。300回を目指して続けたい」と意欲を語った。

< 静岡新聞 2017年6月9日（金） >

スタッフ紹介

佐藤 香代子(ヘルパー)

サンライズで働く仲間をご紹介します。

この方には、女性らしいしぐさや口調にいつも感心させられています。介護職としての視点もすばらしく、今後の活躍に期待しています。

平成28年に常勤ヘルパーとして入社しました。

介護に初めて触れたのは、祖父が病気になった時でした。もっと何かしてあげられなかったかという思いもあり、介護の資格を取りました。これからもご利用者様一人一人との出会いを大切にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。



広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>